

学校名	甲斐市立敷島北小学校	教科	算数 生活 国語
研究主題	豊かな心をもち、主体的に学ぶ子どもの育成 ～主体的・対話的な学習活動を通して、深い学びにつなげる～		

1. 研究内容及び具体的な研究活動

(1) 研究内容

- ①学習課題の設定と提示の仕方の工夫
- ②対話的な学習の場面の工夫
- ③学びに向かう児童の姿の見取り
- ④授業づくりと学級づくりの関連

(2) 具体的な研究活動

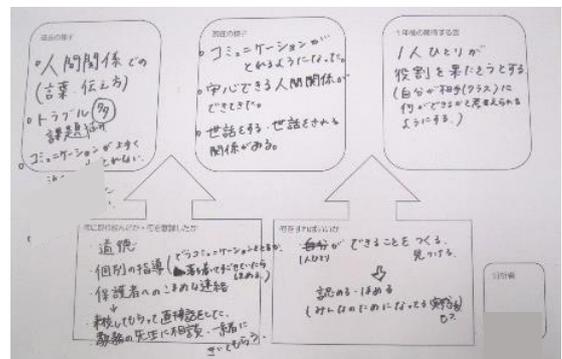
①学習課題の設定と提示の仕方の工夫

○「主体的・対話的で深い学び」とは何かを考えるために、過去に実施した授業だけでなく教師それぞれが学生時代に受けた授業を振り返り、児童が主体的に学ぶ授業の長所や、共通点などを探った。その結果、次の3点が挙げられた。

- ・自分事として学んでいける題材が提示される。
- ・本物に出会ったり討論をしたりして、新しい概念が形成される。
- ・児童にとって安心できる学級づくりがなされ、授業においても様々な考えが発表される。

○児童が自分事として学べるよう、児童の実態を把握し、課題設定や提示の仕方を工夫した。

- ・校内研究の年間計画に「実態分析会」を位置づけ、学習の達成度・生活の様子・家庭や地域の様子なども含めた実態分析を実施、本校児童の長所短所を職員で共有した。
- ・児童の実態をもとに、児童が「当事者」と感じて学ぶ身近な課題を設定したことで、学習への意欲が持続した。



(分析会資料)

②対話的な学習の場面の工夫

○対話とは、単にペア学習やグループトーク等を行えばいいというものではなく、「話し合う価値のある学習課題であったか」ということを問いながら授業づくりを行った。

○対話的な学習の場面を整理し、授業の中に意図的に位置づけた。自分の考えをもち（自分との対話）、仲間と交流（仲間との対話）することで新たな気づき生まれ、再度自分と対話することで、学びが深まっていくことが実感できた。また、深く考えるためには、必ず対話をしていること、相手がいなければ自己内対話をしていることも確認された。

- ・学びの対象との対話…教材文を読む・問題を解く・自分の思いを表現する作品を作る等
- ・自分との対話…課題に対して自分の考えをもつ・振り返って自分の学びを確認する等
- ・仲間との対話…仲間と交流し考えを広げ深める・互いの作品を見合い、相手の意図を読み取る等
- ・教師との対話…問い返して詳しく聞く・対話を通して自分を見つめる等

③学びに向かう児童の姿の見取り

○「指導と評価の一体化」に関わって、評価は単に成績をつけるためだけに行うのではなく、「児童の学びの様子を見取り、次の授業を考えていくためのもの」と共通理解を図った。

○研究授業の際、参観者がこれまで以上に詳細に児童を見取ったところ、作品をよりよいものにするために試行錯誤している姿、友達と意見が違い議論になる姿、鉛筆をもったままじっと考え込む様子など、児童なりに悩み考えて学びに向かう様子を見取ることができた。

○出された作品やペーパーテストだけでなく、見取った児童の態度や姿から、児童の内面も理解しようとする教師側の姿勢に変化が見られ、更なる授業改善につながった。

④授業づくりと学級づくりの関連

- 「授業が変われば子どもが変わる」をキーワードに、課題の大きい児童も参加できる授業づくりに努めた。
 - ・児童の観察や学習感想等から学習のつまずきを分析し、学習をスモールステップ化したり補助発問を入れたりして、児童の実態に沿った授業を作ることに努めた。
 - ・「わからない」が言えたり、間違いが大事にされたりする学級をつくっていくことで、児童が授業で安心して発言したり質問したりするようになった。
 - ・学級担任と支援員等が協力し、個別対応も含めて児童の気持ちや行動に寄り添う指導に努めた。
- 児童の関係を深めていく様々な活動を取り入れた。
 - ・授業の中で自分の思いが言える、また、相手の考えを理解するというような活動が行われると、児童同士の関係が良好になる。さらに関係が良好になるとより深い学びができるようになるということを意識して授業づくりに努めた。
 - ・係活動、学級レクなど、児童が企画運営する活動を行った。
 - ・掲示板を活用し、児童が自由に参加できるコーナーなどを作ったことが、対話を生み出すことに一役かっていた。

(3) コロナ禍における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組

- ・話合いの代わりにコメントを書いた付箋を読み合うことで、仲間との対話の場を設定した。
- ・考えを板書したり、書いたものを実物投影機等で提示したりし、それを見ながら全体で意見の交流を行った。
- ・仲間との対話だけでなく、自分との対話・学びの対象との対話等を積極的に取り入れた。

2. 研究の成果と課題 (○成果 ●課題)

①学習課題の設定と提示の仕方の工夫

- 児童にとって身近な課題を設定することで、興味関心をもち、それを持続させて学習に取り組むことができた。児童の生活に根ざしながら教材研究を行うことで、興味関心をもつ課題が設定でき、効果があることも確認された。
- 児童の実態をつかむことで、教材の準備をしたり指導計画を実態に合わせて組み替えたりして、より効果の高い学習活動を行うことができた。
- 児童が「身近」と捉えにくい課題について、身近な人物に置き換えたり例示を出したりと工夫をすることで、興味関心が高まった。

②対話的な学習の場面の工夫

- 深く考えるためには、必ず対話が行われていることが明らかになった。
- 自分の考えをもち、仲間と交流することで、新たな気づきが生まれる。再度自分と対話することで、学びが深まっていくことが実感できた。

③学びに向かう児童の姿の見取り

- 児童が学習に臨むときの、悩んだり試行錯誤したりする様子・友達との関わりの様子・言わなけれど考えている様子・つまずき具合等を、教師が今までよりも深く見取ろうとする意識が強くなった。言葉には表れない様々な学びの様子を見取ることが大切である。
- 見取ったことをもとに計画を練り直し、次の授業に活かすことができるようになってきた。
- 自分の思いを表現するのが苦手な児童の思いをつかむための手立てを、さらに研究する必要がある。

④授業づくりと学級づくりの関連

- 日常の「教師と児童の対話」が関係を深めていった。良好な関係を築くためには、児童の実態をつかみ、要求をしっかりと聞き取ることが大切である。
- 授業の中で自由な発言ができる、間違いが大事にされる、互いの意見が尊重される等の学び合いの中から、良好な関係が築かれていった。「主体的・対話的で深い学び」を行っていくためには、このような関係が大切である。

3. 研究授業の概要

【算数】

(1) 単元名 はしたの大きさの表し方を考えよう (小数) (東京書籍 第3学年)

(2) 本時の目標 ・整数で表すことのできない端数部分について、1を10等分することで表すことができることに気付く。 [知識及び技能]

(3) 本時の評価規準 ・整数で表すことのできない端数部分について、1を10等分することで表すことができることに気付いている。(指導に生かす評価) [知識・技能]

(4) 授業の展開 (第1時間目/全12時間)

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・ 評価方法等
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの小数への関心をもつ。 ・身の回りから小数で表しているものを見つける。 ○学習課題をつかむ。 ・身の回りにある小数の中から、かさに注目して調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある小数(体温、靴のサイズ、体力テストの数値など)を画像で提示する。 ・小数と整数の違いを比べることができるよう、様々な容器を用意する。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">1 L ます使って、いろいろな入れ物のかさをくらべよう。</div>		
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ○容器のかさを実際に測ってみる。(班活動) ・1 L, 2 Lは教師が測る。 ・1.2 L, 1.3 L, 1.5 L, 1.8 Lの水を班ごとに配る。 ・測った水のかさを図に書く。(個) ・図に書いたものを見せ合っ て共有する。(班) ○1 Lより少ないかさをくら べる方法を考える。(全体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリの書かれていない1 L ますを用意し、容器のかさを測る。 ・はしたについて理解させるため、教師が測ったものとの違いに気付かせる。 ・正しく水のかさを図に表すには、どうすれば良いのか考えさせる。 ・各班の考え方を黒板に貼り、比べられるようにする。どうしてそのメモリをつけたのか理由も合わせて発表させる。 	
	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">めあて</div> 水のかさをどうやって表せばよいかを考えよう。 </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・図にメモリをうつ。 ・どの容器でも使えるメモリが書いてあるのはどれか、考える。(全体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの班も使えるようにするには、「10メモリ」が、都合がいいことに気付かせる。 ・児童の発言を元に、本時の学習をまとめる。 	[知識・技能] ・発言・観察 ワークシート① ・図に記入したメモリと理由の確認
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">はしたのかさを表すには、1 Lを10等分にしたメモリをつけよう。</div>		
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習を振り返る。 ・OPPシートに記入する。 ○次時の学習について確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通しての自分の学習を振り返ることができるよう、OPPシートを使用する。 	

【数学的活動を取り入れて】

○水のかさを測定する活動に興味をもち、意欲的に活動する姿が見られた。

・班ごとに異なるかさを測定する課題を設定した。

○はしたが実感でき、大事なつぶやきがたくさん聞かれた。

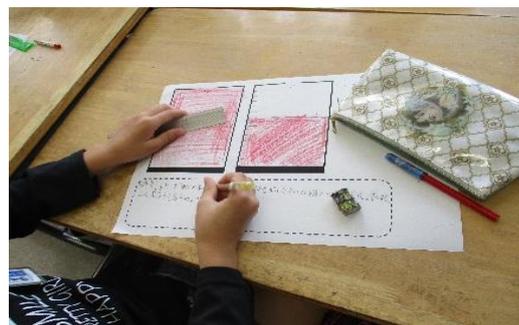
・細かいメモリのついてないリットルますを使うことで、メモリをどうつかを考慮する場面を作った。

△つぶやきを学級全体の課題として生かしていくために、問い返しをして詳しく説明させたり、反対意見を求めたりして、全体の話題にした。



【対話の工夫】

○メモリが必要であることを実感した。話し合いの場面では、はしたの量を表すためにメモリをつけることが必要であることが議論となり、メモリのうち方について多様な考えが出された。(仲間との対話)
 ○既習の学習内容を思い出しながら、学習を進めていた。

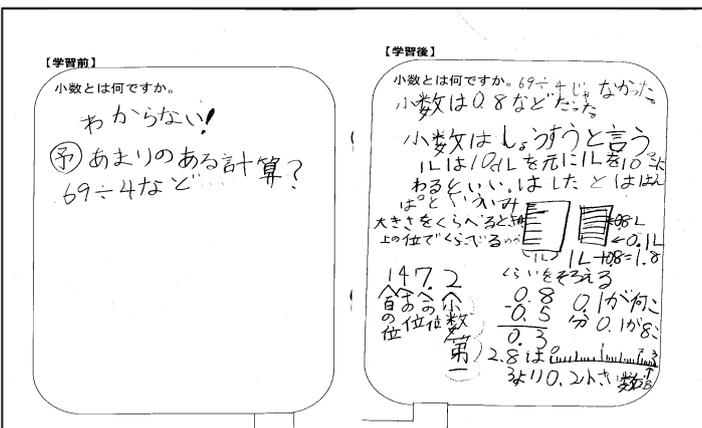


・「班→個→班→全体」という流れで授業を構成する。
 ・多様な考え方をさせることで、対話が生まれ、深い学びにつなげていくことを期待した。
 △出された意見を整理しながら小数の仕組みや表し方に導くためには、より深い教材研究と児童理解が必要である。

【学習の振り返り】

○学びの様子をOPPシートに記録した。学習前や前時までの自分と比べ、学んだことを自分なりに書こうとしていた。(自分との対話)
 ○自分の学習の成果を視覚的に自覚できた。

・「小数とは何か」を、単元を貫く問いとして、振り返りと記録をさせた。
 ・「今日の学習で一番大切だと思ったこと」を書くように指示した。
 ・書いて表現するのが苦手な児童には、書き方を指導したり教師と一緒に考えたりした。



◇OPPシート（一枚ポートフォリオ）

- ・学習前の児童の状態がつかみやすい。
- ・毎時間の振り返りを観察することで、児童の理解したことを知る手段となり、授業計画を修正しながら行った。
- ・授業中の発言やつぶやきの少ない児童の理解に役立つ。児童とのコミュニケーションツールとなっていた。

【生活】

(1) 単元名 作ってためして (教育出版 第2学年) 内容(6) 自然や物を使った遊び

(2) 本時の目標 ・みんなでより楽しく遊べるように遊び方を工夫する。

[思考力, 判断力, 表現力等の基礎]

(3) 本時の評価規準 ・みんなでより楽しく遊べるように, 遊び方を工夫している。[思考・判断・表現]

(4) 授業の展開 (第11時間目/全16時間)

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
導入	<p>○前時の振り返りと, 本時のめあてを確認する。</p> <p>・友達がくれたコメントの中から, 遊び方に関するものを全体に発表する。</p>	<p>・児童が遊び方のイメージをもてるよう, 遊びの案や, 使える道具を提示する。</p>	
	<p>めあて</p> <p>みんながもっと楽しく遊べるように, おもちゃをつかったゲームを考えよう。</p>		
展開	<p>○どんなゲームにすると, みんなが楽しんでくれるかを, 話し合う。</p> <p>・どんなルールにしたら楽しいかな。</p> <p>・ゲームをするのに, どんな用意があるかな。</p> <p>・ゲームの名前はなんというかな。</p> <p>○実際におもちゃを動かしたり場を設定したりしながら, 遊び方やルールを考える。</p>	<p>・ワークシートを用意しておき, アイディアをメモできるようにする。</p> <p>・意見が出せない児童には, 友達の意見を聞いて思ったことを言うように声をかける。</p> <p>・おもちゃを動かしたり実際に遊んでみたりして, 遊び方やルールを考えさせる。</p> <p>・必要な材料や道具を揃えるようにしておく。</p>	<p>[思考・判断・表現]</p> <p>・ワークシート観察</p> <p>・遊び方の工夫やおもちゃの使い方, ルールの確認</p>
まとめ	<p>○ゲームの名前をみんなに紹介する。</p> <p>○感想シートに自分たちの遊びのおすすめポイントや, これから楽しみなことを書く。</p>	<p>・ゲームの名前だけを発表し, ルールの詳細は伝えないことで, おもちゃランドへのワクワク感をもたせたい。</p> <p>・今後の活動が楽しみになる振り返りにする。</p> <p>・児童の気づきが共有できるよう, 児童が感想シートを発表する場を設ける。</p>	

【主体的な学びを目指して】

○おもちゃ作りを体中で楽しんでいる様子が見られた。友達にも楽しんでもらいたいという思いで、意欲をもって取り組んでいた。

△本時のねらいが児童全員に理解できないまま、活動に入ってしまった。

△「楽しいとはどういうことなのか」を児童に問い、同じ考えや思いをもって活動ができるようにする。

・「ゲームを考えよう」と働きかけたことにより、児童が自分の思いや願いをもって活動することにつながった。
・児童の思いや願いのもと活動ができるように、広い多目的室を使用した。



【対話的な学び】

○グループの友達と相談しながら、うまく動かすための仕組みや、丈夫にするための工夫などを、繰り返し試したり修正したりして、遊び方を決めていた。
○おもちゃの性能・遊び場の設定・ルールなどを考えて伝えている。
○児童が互いにアドバイスをするために付箋を活用し、情報交換を行った。

・同じ仕掛けで動くおもちゃを作る者同士でグループ編成をした。(仲間との対話)
・おもちゃや遊び方をいろいろ試してみる場を設定した。(学びの対象との対話)



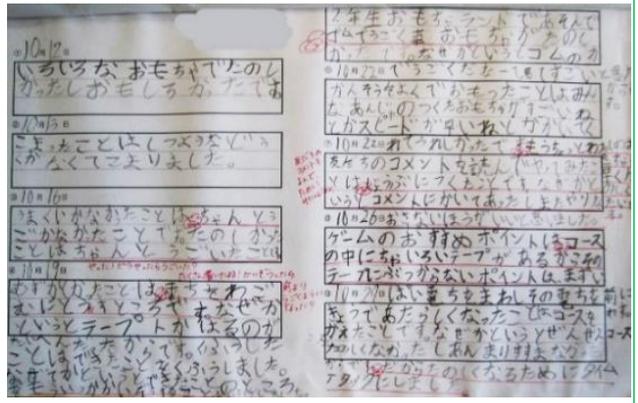
・話を聞く習慣が身につけており、話し合いも活発である。児童同士の関係、教師との関係が良好であることが、授業の土台となっている。

・感想シートを発表させることで、児童が感じたことをみんなでも共有する。児童の頑張りを励ます機会にしたい。
△ゲームの名称だけでなく命名理由も発表させると、児童の願いがより伝わる。

【振り返り】

○発表することで、ひとりの考えがみんなのものになった。

◇児童の「感想シート」から
・さいしょはぜんぜんできなかったけど、ともだちがたすけてくれました。
・ごむのやり方がわからなくて、どうすればとぶんだろうと思っていました。Aくんがいました。「ごむを4つにしなよ」そうしたらかんせいしました。たよりになりました。
(ゴムで動くおもちゃ)
◇児童の学びの様子をつかみ、学習計画を修正しながら授業を進めた。学習が進むと、書く内容も量も豊かになっていった。



【国語】

- (1) 単元名 伝記を読み自分の生き方を考えよう
- (2) 教材名 「やなせたかしーアンパンマンの勇気」(光村図書 第5学年)
- (3) 本時の目標
 - ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] C (1)カ
 - ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力, 人間性等]
- (4) 本時の評価規準
 - ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げようとしている。 [思考・判断・表現]
 - ・進んで「やなせたかし」の生き方や考え方をとらえ、今までの学習を想起して自分の生き方について思いや考えを文章にまとめようとしている。 [主体的に学習に取り組む態度]
- (5) 本時の展開 (第7時間目/全8時間)

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
導入	<p>○本時の学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて やなせたかしの生き方について、友達と考えを交流し、自分の生き方を考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の初めに紹介した担任のエピソードを想起させる。(担任の生き方に影響を与えた、ある本との出会いについて) 	
展開	<p>○グループの中で考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やなせたかしが大切にすることはどのようなものかについて話し合う。 ・自分の考えと根拠を発表し、そう考えた理由も述べる。 <p>○全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな考えが出されたか、発表する。 <p>○自分の生き方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やなせたかしの生き方について考え、自分が変わったこと、また変えていきたいと考えることなど、自分の生き方についての考えを書く。 ・ワークシートに自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に書いた自分の考えを基に交流するようにする。 ・1グループを2人から4人で構成し、やなせたかしが大切にしたものについて同じ内容を取り上げた児童同士のグループを、予め考えておく。(予想される児童の考え) 勇気 正義 人を助けること・思いうやり 弟・家族 お腹がすいている人に食べ物をあげること ・同じ考えでも、根拠とする部分や理由が異なることに気付くようにする。 ・自分と違う考えをもつ友達の意見も大切にするように伝える。 <p>書き方の視点</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・新しく知った ・こうなりたい ・考えが変わった ・初めて考えた ・考えが深まった ・自分は○○だけ ・自分は○○だから ・友だちの意見を聞いて ・自分が大切にしたいこと </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート・発言 ・友達と交流し、自分の考えを広げているかの確認。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・友達との交流を通して気付いたことを踏まえ、やなせたかしの生き方に触れながら自分の生き方について考えを記述しようとしているかの確認。 </div>
まとめ	<p>○書いた考えを発表する。(数人)</p> <p>○次時の学習について確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えから自分の考えを広げるようにする。 ・次時は全体で交流することを伝える。 	

